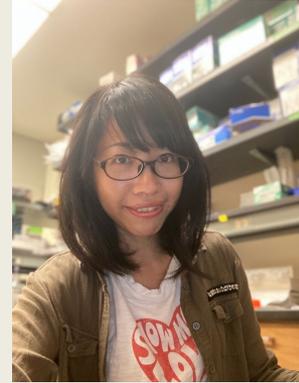


## 脳室内運動性多繊毛の 発生と機能

講師：高岸麻紀 助教

名古屋市立大学 大学院薬学研究科  
病態生化学分野



日時：2023年12月22日（金）17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス  
医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンライン  
での参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

URL：<https://us02web.zoom.us/j/86508611021>



脳脊髄液に満たされる脳室の表面は、協調的に一方向へ波打つ運動性多繊毛に覆われている（下の写真）。運動性多繊毛は、モータータンパク質によってその運動性がもたらされ、平面内細胞極性によってその方向性が決まる。本セミナーでは、運動性多繊毛の発生とその機能について紹介する。運動性多繊毛の異常を生じる遺伝子変異マウスの解析や先天性水頭症の症例から得られた知見を統合し、運動性多繊毛の水頭症発症への寄与や、脳室-脳室下帯にある神経幹細胞への関与にも言及したい。

側脳室表面を覆う運動性多繊毛が、脳の発生や脳脊髄液の循環にどのように関与するのかについて議論する。



### References:

- 1) Takagishi *et al.*, "Kif6 regulates cilia motility and polarity in brain ependymal cells." **Preprint**. doi: 10.1101/2023.02.15.528715.
- 2) Takagishi *et al.*, Cytoplasmic Dynein Functions in Planar Polarization of Basal Bodies within Ciliated Cells. **iScience**. 23: 101213. 2020.
- 3) Takagishi *et al.*, Daple Coordinates Planar Polarized Microtubule Dynamics in Ependymal Cells and Contributes to Hydrocephalus. **Cell Rep**. 20, p960-72. 2017.

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp